

第47回岡山県がん診療連携協議会議事要旨

1 日時 令和3年8月30日（月） 18:00～19:10

2 形態 web会議

3 出席者 49名

4 あいさつ

○開会の挨拶があった。

5 報告事項

(1) 岡山県

○令和3年度から国が実施することとなった小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業について報告があった。国から示された事業実施に係る要綱を基に岡山県としての実施要項を公表し、令和3年6月1日から施行されている。ただし、同年4月1日以降に精子・卵子の凍結保存を行った患者であれば適用対象である。申請方法や対象者等詳細については要綱にてご確認いただきたい。今後、県としてはリーフレット等を作成して本制度の周知を図っていく予定のため、各拠点病院には院内周知、及び患者への説明等での協力をお願いしたい。本事業で費用助成を受けるためには県が指定した医療機関で妊孕性の治療を受けている必要がある。前回も申し上げた通り、本事業を進めていくにあたってはがんの治療を行う医療機関と妊孕性治療を行う医療機関の協力が必要になるので、今後も密な連携をお願いしたい。

○前回の協議会で承認された妊孕性部門について、本事業の実施にあたり、「がん・生殖医療部会」として活動を始めたことが報告された。

(2) 事務局・岡山大学病院

○令和3年度各拠点病院から情報提供があった研修会・講演会について報告があった。引き続き、今後も情報提供いただきたいと依頼があった。

○岡山県がん診療連携協議会HP閲覧統計（R3年度）について報告があった。

・閲覧数については、例年同様「セミナー・講習会（医療関係）」が最も多く、「がん拠点病院とは」「地域連携パス」と続く。この4カ月の傾向として、「地域連携パス」と「がん相談支援センター」の閲覧数がわずかに増加している。

・訪問者については、前回報告同様9割以上が初回である。地域別にみると、岡山県内の方が7割以上を占めているものの、以前は8割が県内からのアクセスであったため、県外からの閲覧が若干増加しているようである。

(3) 作業部会 等

① 地域連携パス部会

○令和2年度岡山県統一版がん診療連携パスの算定実績、及び令和3年度岡山県統一版がん診療連携パスの算定実績（R3.4～R3.7集計分）について報告があった。

・令和2年度の実績について、前年度と比較して合計10件の減少であった。

・令和3年度について前年同月と比較したところ、肝癌以外は少ない件数で推移している。

・岡山県統一版の5大がんの地域連携パス診療手帳を更新する件についてニーズを調査するためにアンケートを実施したところ、「肺がん」の要望が最も多かったので、今年度は肺がんの手帳の更新に取り組むこととした。まず院内で担当者を決めて打合せを行い、皆様に情報共有してご意見を伺いたいと思っている。手帳のサイズについては、3年前に更新した「乳がん」同様A5サイズを検討している。今年度の更新を目指しているのでご協力をお願いしたい。

② がん相談支援部会

○5月24日にweb開催された第45回がん相談支援実務者会議について報告があった。

・9月のがん征圧月間について、今年度も各施設のがん相談支援センターにパネル展示等の実施を

お願いしている。

・地域での連携展示について、岡山県立図書館、他5つの市立図書館で連携展示（パネル展示）をお願いしており、岡山県立図書館と瀬戸内市立図書館ではがん相談支援センターのPR活動もさせていただき予定である。

・がん相談員研修について、昨年度は2回しか開催できなかったため、今年度は3回の開催を計画している。第1回は7月12日に実施済みで、第2回は10～12月頃、第3回は来年2～3月頃を予定している。

・PDCAサイクルについて、がん相談部会は今年が3年目の相互チェックの年で、コロナ禍ではあるが中止せず、オンライン訪問で実施することとした。9月の部会でスケジュールや実施方法、グループ分け等について話し合うが、11～12月頃に各施設がチェックを受ける予定にしている。チェックを受ける際は、前回同様に各施設の管理者、又はがん相談支援センター長の同席を求めていこうと考えているのでご協力をお願いしたい。

・昨年度の報告と昨年度の取り組みについて各施設から報告があったが、各々の特徴を議事要旨に記載しているためお目通しいただきたい。

引き続き、9月12日にオンラインで開催予定の岡山県がん診療連携拠点病院第15回公開講座について広報があった。今回は当日の視聴だけでなく、翌日から1週間程度オンデマンド配信も行うので、ぜひ広報、及びお申込みをお願いしたい。

③ 緩和ケア部会

○令和3年度緩和ケア研修会の開催状況（予定）が報告された。コロナ禍で開催がなかなか難しいが、各施設工夫をこらして開催を計画しているようである。岡山県からの委託を受けて県医師会が行う研修会は、色々な病院に勤務する医師が参加するので今年もコロナの状況によっては開催できない可能性もある。岡山県から令和3年8月5日付けで連絡が来ているが、実地での開催が困難である場合にはロールプレイングを含めてすべてオンラインで開催した場合も認められることとなった。オンラインのみで開催する場合には、新たに示された指針に従って開催していただきたい。

④ がん看護部会

○7月30日にweb開催された第57回がん看護部会について報告があった。今回は、がん看護セミナーおよびブラッシュアップセミナーの企画について相談した。事前に各施設にアンケート調査を行ったところ、高齢がん患者への意思決定についての受講要望が多かった。そこで、今年度のテーマを「高齢がん患者に寄り添う意思決定支援」とし、10月16日にオンラインセミナーを企画したので、各施設で広報していただきたい。

⑤ 研修教育部会

○6月7日にweb開催された第20回研修教育部会について報告があった。今年度の研修会開催について意見交換を行ったところ、来年2月頃の平日夜に1時間程度リモートで開催することとなった。対象者は前回同様、県内の医療従事者に多職種で参加を呼びかける。テーマは「化学療法の連携」としたが、もっと広く「がん診療の連携」でも良いかと考えている。まず拠点病院側と地域の病院側の医師各1名にミニレクチャーを行ってもらい、その後ディスカッションをする。多くの施設に幅広く参加してもらうためにも、協議会会長印を押した修了証書の発行、協議会ホームページに施設名の掲載等を考えている。詳細は次回の会議で詰めていく。

⑥ がん登録部会

報告事項なし

⑦ がん薬剤師部会

○5月27日にweb開催された令和3年度第1回がん薬剤師専門部会について報告があった。前回アナウンスしたが、岡山医療センターの3名が交替し、新メンバーでの体制となった。昨年度現地開催を予定していた第3回研修会（金川地域）について、コロナの影響で延期していたが、現地開催の目途が立たないためオンラインで本年7月31日開催した。受講者は62名で、アンケートに回答した方の9割以上は理解できたと回答しており、総合評価では全員から良い評価が得られた。自由記述でも、Q&Aセッションが興味深かったとか、他施設と情報共有ができたのが良かったという

意見があるなど、大変好評であった。今なお感染収束のきざしが見えないので、今後もオンラインで開催していくことを検討している。

⑧ 歯科部会

○8月に行ったメール会議について報告があった。岡山県歯科医師会執行部の刷新があり、本会議には新副会長にご出席いただいている。医科歯科連携に関わる歯科関係の研修会について、数少ない歯科関係の研修会を部会員に広報するのがこの部会の大きな役割と考えている。春ごろ岡山県歯科医師会、岡山市歯科医師会から連携に関する講演会・研修会の開催依頼が何件か来ていたが、その後両者の執行部刷新があったことも影響し計画が少々遅れている。唯一決定しているのは12月5日に開催予定の中国四国がんプロ歯科口腔外科インテンシブコースで、今回は大学病院における指導的な立場にある連携に関するシンポジウムを計画中である。

⑨ がんゲノム医療部会

○以下の報告があった。

・がんゲノム医療連携病院について、岡山大学病院が中核拠点病院で、連携病院は県内4施設が選定されている。地域がん診療連携拠点病院が申請対象のため、まだの施設にはぜひ申請を検討していただきたい。

・岡山大学病院では9月1日からFoundation one liquidが開始する。今まではがんの組織を用いていたが、検体が古い、摘出できない、微小であるといった場合でも液体を用いることで選択肢が広がったことになる。今後、ホームページ等で情報提供していく。

・厚生労働省の定めるHBOC診療連携について、2020年4月から一部保険収載が始まっている。現時点で当院は県内11施設と連携している。乳がん、卵巣がん、膵がん、前立腺がんを扱っている施設は治療法とも直結するのでぜひ申請していただきたい。

・一般社団法人 日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構の遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設について、当院は県内4施設と連携している。こちらもぜひ診療連携を進めていただきたい。

・6月22日の岡山県議会定例会 一般質問で遺伝性腫瘍の予防啓発（公開講座等）や助成制度についての質問があり、遺伝性腫瘍の予防啓発については公開講座を含めた県民啓発について検討を進めていくと県知事から回答をいただいた。その後、県民啓発についての継続的な活動が必要であると県保健福祉部と情報共有した。ゲノム医療は医療者側と県民側のリテラシーの両方から進めていかなければならない。

・がんゲノム医療部会メンバーについて、地域横断的及び診療科・職種横断的が望ましいので興味のある方はぜひ手を上げていただきたい。部会メンバーの決め方もご指示いただきたい。

→岡山大学病院より、どんなメンバーを集めたいのか指示していただければ、事務局から各拠点病院に募集をかけることができると回答があった。

・がん予防啓発、県民のゲノム医療リテラシー向上策について、広島県や香川県ではがん予防に関する市民講演会等で講演させていただいた。岡山県ではこのようなお話が来ていないので、ぜひ来年以降の岡山県がん診療連携協議会の中で講演機会を与えていただきたい。また、講演会は1回開催して終わりではなく、同一地域、同一病院で定期的を開催し、丁寧に時間をかけて行っていく必要があると考えているので、県内どの地域でも出向くのでぜひ講演機会を設定していただきたい。

→岡山大学病院より、事務局は手伝うので、ぜひ部会の方で岡山県での研修会を進めていただきたいと意見があった。

⑩ がん・生殖医療部会

○この度、発足した部会について紹介があった。各施設の情報伝達者に依頼して委員を選出していただいたところである。2006年にがん患者の妊孕性温存を始めて、2013年から任意団体「がんと生殖医療ネットワークOKAYAMA」を作って、2018年に岡山大学でリプロダクションセンターを作ったという経過で、日本全体でみても岡山は妊孕性温存について比較的早い時期から取り組んでいた地域である。この度、小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業が始まったことで該当する方に経済的支援をしてもらえるようになり、協議会に部会を作ってもらった。すでに岡山県医療推進課との共同で何施設かで講演をさせていただいたので概要はご存知かと思うが、今後パンフレットを作るなどしてより連携を緊密にしていきたい。まずはこの部会で何をやっていくのかをまとめて、今年度中には活動を始めたいのでご協力をお願いしたい。

(4) 地域がん診療連携拠点病院・診療病院・推進病院
特になし

(5) その他
特になし

6 協議事項
特になし

7 その他
○岡山県医師会より、乳がん部会では、超音波検診に使用する機種が古くなっているため施設認定の基準をはっきりさせた方が良くはないかという意見が出ており、次回の部会で検診施設の基準が更新されるとの情報提供があった。

○岡山県歯科医師会より委員交替の挨拶があり、歯科部会からの報告通り、医科歯科連携に関する研修会等の情報を会員に提供していきたいと思っているのでご教示をお願いしたいと依頼があった。

8 次回開催日
次回は12/6、又は12/13に開催予定。
開催日が近くなったら日程調整を行う。
(対面の場合は岡山大学病院 大会議室、コロナ収束状況ではweb開催とする)